

平成25年度 開進第一小学校 学校評価 集計結果

評価結果をわかりやすく数値化し、表にまとめたのが以下の通りです。

A：あてはまる（4点） B：ややあてはまる（3点） C：あまりあてはまらない（2点） D：まったくあてはまらない（1点） E：わからない（点なし） として総合点を出し、総合点÷（総数－Eの数）を計算して平均値としました。

① 保護者、地域、教職員の評価結果

	【学校について】	保護者	地域	教職員
1	学校の教室や廊下、特別教室などの環境整備がいき届いている。	3. 3 9	3. 9 2	3. 3 7
2	学校では校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っている。	3. 4 5	3. 8 4	3. 5 6
3	学校は、子どもたちのために意欲的に教育活動に取り組んでいる。	3. 6 1	3. 9 2	3. 9 4
4	学校は、校内で起こった諸問題について迅速・適切に対応している。	3. 3 6	3. 9 0	3. 8 2

	【教員の指導について】	保護者	地域	教職員
5	授業をわかりやすく工夫して教えている。	3. 5 7	3. 9 1	3. 2 5
6	集団生活をする上での基本的な生活習慣が身に付くように指導している。	3. 5 5	3. 7 5	3. 6 0
7	子どもの健康や安全に関する指導が適切に行われている。	3. 6 1	3. 8 3	3. 7 2
8	子どもは、充実した学校生活を過ごし、学校が楽しいと感じている。	3. 4 7	3. 8 1	3. 3 7

	【地域・保護者との連携について】	保護者	地域	教職員
9	学校は、各行事や公開日、参加型授業を通じて、学校を公開するために努力をしている。	3. 7 9	4. 0 0	3. 9 1
10	学校は、教育方針や教育活動を学校だよりや学年だより等で地域・保護者にわかりやすく伝えている。	3. 6 4	4. 0 0	3. 8 9
11	学校は、子どもについての連絡・相談に適切に対応している。	3. 5 3	3. 9 0	3. 6 9

② 児童による評価結果

	評価項目	昨年度	今年度
1	学校は楽しいですか。	3. 5 6	3. 4 8
2	授業は、わかりやすいですか。	3. 5 1	3. 4 6
3	先生は、よいところをみつけてほめてくれますか。	3. 4 1	3. 4 5
4	先生は、いけないところをきちんと注意してくれますか。	3. 4 9	3. 7 5

5	学校には、こまったときに相談できる先生がいますか。	3. 1 8	3. 3 7
6	学校のきまりや約束を守っていますか。	3. 3 4	3. 3 4
7	自分の意見や考えを、進んで発表していますか。	2. 8 1	2. 9 0
8	自分からともだちや先生に進んであいさつしていますか。	3. 4 1	3. 3 7
9	友だちやまわりの人に、思いやりをもって親切にしていますか。	3. 4 1	3. 4 6
10	自分から進んで読書をしていますか。	3. 3 3	3. 4 8

以上の評価結果をもとにして、1月25日（土）の第三回学校評議員会で来年度に向けて話し合いを行いました。当日は、学校評議員の皆様にも全学級の授業を参観していただき、「伸びゆく開一の子」発表会にご参会いただきました。また、今年度の学校評価の分析結果をもとに、ご意見をいただきました。成果・課題・改善策として、以下のようにまとめました。

成果

- ・保護者アンケートの回収率が向上したことより、多くの保護者が学校に関心を持ち、満足している状況といえる。
- ・本校の卒業生の地域での評判がよい。地域行事にも多数参加している。学校全体で地域に溶け込む姿勢が見られてよい。
- ・校外学習における児童の活動が充実している。
- ・学校公開では、教員の熱心な指導と児童の生き生きとした姿が見られた。
- ・「伸びゆく開一の子」発表会では、保護者参加型の分科会により、学校の取組についての理解が深まった。

課題

- ・児童の評価結果より、授業の理解度、満足度のポイントが下がっている。アンケート実施時の児童の状況等も考慮しつつ、「学校が楽しい」と回答する率を高めたい。
- ・高学年では、自他ともに大切にできる児童が少ないように感じた。「自分を好き」といえる児童を増やしていきたい。
- ・地域、保護者連携についての項目で、差が見られる。

改善策

- ・各教科等において、自分の意見や考えを進んで発表する活動を多く設定するなど指導の工夫を行い、授業の理解度、満足度を向上させる。
- ・今年度、正門前の道路に「あいさつロード」の看板を設置した。また、児童・PTAによるあいさつ運動を実施したことで、進んで気持ちのよいあいさつができるようになってきた。さらに次年度も児童会・高学年を中心に、継続してあいさつ運動を実施する。
- ・自己肯定感を高めるために、児童のよさを認め、道徳の時間を中心とした心の教育の充実を図る。
- ・次年度よりマークシートによる評価を実施し、集計作業の簡便化、校務改善を図るとともに、回収率を維持する。
- ・体力テストの年2回実施については、児童の体力向上の実態がより把握できるものとして、次年度も継続して実施する。